

からたちこどもえん になりました！

初瀬基樹

1980(昭和55)年の設立以来、「河内からたち保育園」として親しまれてきたわが園ですが、2023年(令和5)4月からは、施設類型を「保育所」から「幼保連携型認定こども園」に移行し、それに伴って園名も「からたちこどもえん」と改名しました。

保育園の設立時、河内町は古くからのみかんの産地でしたので、園名はぜひ、みかんに因んだものにしたいという願いがあったそうです。

みかんを育てていらっしゃる方々にとっては常識だと思いますが、みかんは、始めからみかんの木として育てられるのではなく、からたちの木に接ぎ木されて育てられます。ですから、おいしいみかんを育てるためには、その台木である「からたち」が非常に重要な役割を担っています。人間形成の基礎を作る大切な時期である乳幼児期(みかんの木で言うなら、からたちの部分)のお子さんを、お家の方や地域の方々と一緒に、大切に育てていこうという思いを込め、園名に「からたち」という名前を入れようと考えたそうです。それで当初はそのまま「からたち保育園」という園名で申請したらしいのですが、すでに県内に同名の園があるということで受理してもらえず、頭に「河内」をつけ、「河内からたち保育園」となったとのこと。・・・ただ、「カワチカラタチ」は少々言いづらく、電話等を受ける際でも「はい、からたち保育園です。」と略してしまうことが多かったです(笑)。

そんなわけで、認定こども園に移行した後も「からたち」という名称は残したいと考えていましたので、思い切って「河内」を外し、すべて平仮名でシンプルに「からたちこどもえん」としました。

先日、うちの園の元職員で今は県外で保育をしている職員が遊びに来てくれて、話をしたのですが、うちを辞めてから4つの園を渡り歩いたとのこと。ちょうど不適切な保育が各地で問題になっていることもあって、「ここ(からたち)のように、子どもたちにとっても、職員にとっても、保護者の方々にとっても居心地がよく、本当に子どもたちのことを考えて、保育の勉強もしながら保育をしている園は他にはないです。熊本に帰ってくることがあったら、またからたちで働きたいです。」と言ってきていました。うちでは当たり前なことしかしていないように思っていたのですが、現にうちで働いて、さらに他の園での保育も経験した人からの言葉は、説得力があり、うれしいものでした。同時に、どこの園に通ったとしてもすべての子どもたちが楽しく幸せな園生活を送れるようになってほしいとも思いますが・・・。

なにはともあれ、幼保連携型認定こども園 **からたちこどもえん** としての新年度が始まりました。職員一同、今まで以上に保育の質の向上に努めてまいります。また地域に向けての子育て支援等にも力を入れていきたいと考えています。「ここでいっしょに子育てができてよかった」「子育てするなら河内町！」と言ってもらえるような地域にしていきたいものですね。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

